



# 考え

第七十三回 みんな大好きアイドル事務所と『火の鳥』

寿司ペロペロには騒ぎ、  
アイドルペロペロには  
沈黙する正義。

弦楽器イルカ  ⇔ 友人



# 目次

はみだしウマシカさん その21 .....	1
第七十三回 みんな大好きアイドル事務所と『火の鳥』～G から U へ～ .....	3



## はみだしウマシカさん その21

どうも。考える漫才です。

ほどこしたい。

ああ、情けは人のためならずだね。巡り巡って自分のためにほどこすんだね。

いや、人のためでも自分のためでもなく、ただほどこしたい。

ほどこシテロだね。

まず、回転寿司にほどこしたい。

食べて応援とか？

食べて応援しながら、高級イクラや高級ウニを、回ってる寿司にのせたい。

自腹で？勝手に？

朝市で新鮮な高級食材を買いまくって、人が取る前の皿にドボドボのせたい。

無差別ほどこシテロだね。気づかないで食べた人には喜ばれるね。

そして気づいた人に通報される。自分を痛めつけるだけの究極ほどこしがしたい。

じゃ、もっと高みを目指せるね。ランドセルものせたら？

伊達って手紙つけて、ランドセルにウニとイクラものせて回そう。

金の無駄遣いだけじゃなく、自分のメンタルもほどこして痛めつけたいね。

じゃ、親の形見だ。鑑定しても価値のない古い懐中時計や指輪を高級伊勢海老にはめてのせよう。親の形見が生臭くなってメンタル崩壊だね。

店にもほどこさないで。取った皿の代わりに、高額鑑定皿をのせよう。

古伊万里とかマイセンの皿に高級アワビを山盛りのせて回そう。

更に一周回って、ほどこシペロペロしたい。

皿に？

更に。本当はしたくないけど、涙をのんでペロペロしたい。

じゃ、まずアイドル事務所の社長になって、所属アイドルにペロペロしよう。

趣味じゃなく、心を鬼にして。社長がアイドルをペロペロすると、アイドル同士が秘密を共有することで団結して、連帯感が増す。

どんな嫌な仕事でも、社長のペロペロに比べたら我慢できるし。アイドルとして忍耐力も増すね。

もちろん社長はもみ消すから。公然の秘密として国家権力に認めさせるから。全国民が知っていながら黙認する国を作るから。

国営放送も黙らせる強い力を持つてる事務所ってわかれば、アイドルは完全服従だね。

でもアイドル一人一人が頑張っているおかげで、もみ消す力がうまれるから。もしアイドルが頑張らなかったら、社長のペロペロはマスコミに暴露されちゃうから。

「アイドルが頑張れば頑張るほど事務所が強くなり、自分がされたペロペロは隠ぺいされる」って、完全なパラドックスだね。被害者であるはずのアイドルも、共犯にさせられるんだね。

そう。だから全国民がペロペロを黙認すればするほど、アイドルは歪んでいくから。アイドルの誰か一人が裏切ったらみんなが迷惑する。事務所だけじゃなく、アイドル、マスコミ、ファン、全国民に被害が及ぶよ。

全国民がペロペロの共犯者だもんね。

事務所とアイドルにいびつな一体感が生まれて、全国民を蔑むような、自分が権力持ったつもの上から目線アイドルがいっぱい育つよ。

心の底からしたくないペロペロだね。でもしないといけないんだね。

本当はやりたくない。添い寝やマッサージやペロペロなんて面倒だし気持ち悪い。でも、我慢してやるよ。

誰のためにもならない究極のほどこしが完成だね。じゃ、次の漫才考えるから、あんたとはやっとなんわ。

どうもありがとうございました。

## 第七十三回 みんな大好きアイドル事務所と『火の鳥』～GからUへ～

羽生君、辛かったんだね。本当に大変だったんだと思うところから、今回は始まります。

『RRR』面白かったし、映画館で金払って観る価値もあった。

終始一貫して、大英帝国に抵抗する印の国威高揚映画って断言していいと思うんだけど。

露の侵攻前ならまだしも、米英欧の西側と中露印の東側が別々の経済圏を確立し始めている現状で、印が西側と戦争準備するために武器を集めましょうって煽るような映画の意味について、考えさせられる。

あと、印って女性蔑視がよくニュースになるし、最近ミソジミーを告発する映画もあるって調べたけど、そこらへん誤魔化するために強い男が女を守るって、男威高揚映画でもあると思うんだよね。

俺は『RRR』観て、割と素直にそう受け取ったんだけど。

世間には「面白い」「気持ちいい」ってだけの純朴なレビューが多くて。そりゃ、福島の小児甲状腺の訴訟は12年後、ニュースにすらならないって痛感するよ。国全体がムシ考で隠ぺいに加担してる共犯者なんだから。

あと、同じ日に『魔法にかけられて2』を有料配信で観たんだけど。これ『RRR』と比べて観たら面白いと思った。基本、同じような展開のミュージカル映画なんだよ。人殺すか殺さないかくらいの差しかない。

『魔法に～』は1も2も、気付きがあって笑えるし泣ける。『RRR』も歌や踊りに必然性を持たせて物語を分断しないように気を付けてたけど、『魔法に～』はより自覚的に、ディズニー本家が自分をパロディするために歌や踊りを使って感動させるって、ありそうでない演出になってて、『RRR』より短いし観やすかった。

でも羽生君は本当に辛かったんだよ。頑張ったんだなって思う。  
羽生君も火の鳥の衣装を着てたけど、手塚治虫『火の鳥』が改めて良くて。今読み直し終わって、『ブッタ』まで読んでるんだけど。

量子ナントカ学で、世界がどう円環してて、どう円環してないのか、今後研究は進むだろうけど、事実が明らかになるころにはもう自分は死んでるかもしれない。

だったらとりあえず「世界は円環してる」って仮の結論をつけて、円環してる世界を自分はどう生きるのかって考えた方が、有意義で合理的だと俺は思った。

とりあえず『火の鳥』『ナウシカ』『寄生獣』読んどけば、ウマシカな世界は円環するよ。

今をどう生きるのかって、上の足を引っ張ったり下の頭を叩いたりするのではなく、自分の能力を向上させる生き方について、すごく考える。

『火の鳥』は未完のまま手塚が亡くなって、最後に現代編があったはずってのは有名だけど、「現代編のラストは手塚の死亡時刻になる予定だった」って解説読んで、それは「なぜ漫画を描くのか」って手塚の自伝になるのかなと思った。

つまり命を削って表現することが、円環を生きる意味につながるって話だと思うんだよね。

そういう意味で、宮崎駿の次回作は俺にとって『火の鳥 現代編』になるような気がする。

結論を先回りし過ぎてるし、たぶん全く理解できない話だと思うけど。

だから、羽生君はすごいよ。火の鳥だよ、まさに。円環する生命を命を削って表現してる。清明だし。

つまらないオチがついたからもういいや。

あと何回も書くけど、「炎上」って言葉には何の火も定義もない。「何人」が「何時間」、「何の媒体」で「何文字以上」騒いだか定義を決めないことで、自分一人騒いでも「炎上」って都合よく使えるようにネットスラングを悪用してる。

一個人が使うのは自由だけど、「炎上」に便乗してるマスコミや企業はもうすぐ、「炎上」を煽っているという理由で火のない炎に焼き尽くされると俺は思うね。

裸の王様を持てはやしたり、オオカミが来るって嘘が本当になる童話を引用するまでもなく。

ここつまらないウマシカ予言シリーズね。

今回はこんな感じ。

どうかな？



---

考えるウマシカ～第七十三回 みんな大好きアイドル事務所と『火の鳥』～

---

著 弦楽器イルカ

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---